

コロナ研究データ集約

医薬基盤・健康・栄
健康・栄養研 活用基盤を構築

医薬基盤・健康・栄養研究所は、新型コロナウイルス感染症の研究開発データを活用できる基盤を構築した。異なる医療機関や研究機関からの医療情報や解析データを集約する。医療機関や民間企業、大学などがデータを活用して治療薬やワクチンの開発に役立てられる。24日からデータ利用や共同研究の申請を受け付ける。

構築した基盤は、診療情報1778例の複数管理されており、データ管理方針やシステムの違いを超えて共有・公開し、二次利用できる仕組みがなかった。人工知能(AI)やIoT(モノのインターネット)を用いて医療を効率化するシステム「AIホスピタルシステム」における研究成果とも連携する。セキュリティの高い医療情報データベースの構築といった成果の活用を図る。